

主の公現 (マタイ 2:1-12)

あなたが受け取った片道切符はドラマに満ちている



主の公現を迎えました。イエス様が東方の学者たちの礼拝を受けたことで、世界中に救い主が示されたことを象徴的に表しています。福江教会でも星を見た学者たちがジワジワ近づいてきていました。主人公はイエス様なのですが、今日は特別に脇役が光っていますね。

1月30日の司祭団マラソンが近づいてきました。私もトレーニングに励んでいますが、勝ち負けはとてできないです。練習の感触だと、堂崎教会から福江教会まで1時間15分くらいでしょうか。1時間過ぎたあたりで聖マリアの園とか聖マリア病院とかを通過していたら上出来だと思います。誰が誰か、分からないだろうと思いますので、私はこの、カープファンお似合いの真っ赤な帽子をかぶって走ります。

さて占星術の学者たちは、自分たちの星占いの道具を駆使して、ユダヤ人の王が生まれたことを確信し、まずはヘロデ王のもとに向かいます。もしかしたらヘロデの子が生まれたと考えていたのかも知れません。ところが事実は前もって考えたことよりも神秘的でした。

ヘロデは自分の知らないところで始まった救いの計画にうろたえ、心の中では幼子を消し去ろうと考えます。すでにユダヤ人の王としてお生まれになった方、救い主イエスは、さまざまなドラマを巻き起こそうとしていたのです。ドラマは、占星術の学者にも用意されていました。

東方で見た星が先立って進み、幼子のいる場所の上に止まり、占星術の学者を救い主に出会わせます。「幼子のいる場所の上に」この表現も何かを匂わせる表現です。家畜小屋を見て、その上に輝く星を見る。これを何度も繰り返して、ついに心は喜びにあふれました。

学者と名の付く人たちが、ひれ伏して幼子を拝みます。主人公がイエス様であることは一目瞭然です。私たちも心の中でイエスにひれ伏し、この方が私たちの主であることをいつも証ししたいものです。占星術の学者たちは宝の箱を開けて黄金、乳香、没薬を贈り物として献げました。学者たちは贈り物を通して、彼らが得たこの世の知識も献げ尽くしたのだと思います。もっとすぐれた宝、救い主イエスを確かめたので、もう何も手もとに残す必要を感じなかったのでしょうか。

彼らは夢のお告げによって、「別の道を通して自分たちの国へ帰って行った」(2・12)とあります。「別の道」は、救い主イエスを知らずに通ってきた道を離れ、救い主を見て礼拝して、喜びに満ちあふれて通っていく道です。それは私たちも同じことです。ミサに与り、みことばと聖体に養われ、これまでとは違った喜びに満ちて歩む道です。

この道に、さらに一つ付け加えましょう。この道は片道切符を握りしめた道です。イエスのみことばと御聖体に養われて生きる道は、別の寄り道をして養い育てられたりはしないのです。このイエスに養われ、導かれて生きる。この道を人にも証しする。この片道切符を握りしめて、私たちは自分たちの生活へ、自分たちの国へ帰って行くのです。

全能の神よ、聖なる福音をふさわしく告げるため、わたしの心と口を清めてください。

私はいつも、この話を神学生・志願者に向けて話します。あなたの道は、片道切符を握りしめた道なのです。途中下車して、目移りして時間を過ごし、気が向けば戻る。そんな道ではないのです。片道切符の目的地、召命の目的地は、いつも心に留めていなければならないのです。

占星術の学者たちは、救い主をひれ伏して拝んだ喜びを片道切符に、自分の国に帰っていきました。この姿をぜひ目に焼き付けて、それぞれの道を歩んでほしいと思います。学者たちは自分の国に帰って、ドラマに満ちた人生を送るでしょう。同じように救い主イエスは、すべての人に、ドラマに満ちた片道切符を用意してくださるのです。

年間第 2 主日(ヨハネ 1:35-42)

福音のことばによって、わたしたちが罪から清められますように。